

イラボ・ニュースレター



2012年4月

Vol. 1、第1号

創刊に向けて

創刊号では、これまでの「つくば臨床検査教育・研究センター」の事業活動を中心にまとめましたので一読ください。

つくば臨床検査教育・研究センター

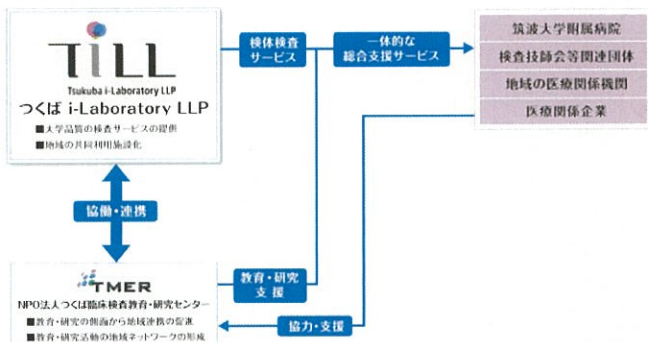
事業紹介 こんな仕事してます

- ∴ 筑波大学附属病院が提案した産学連携の試みとして生まれた「臨床検査分野の教育・研究・診療の支援サービス」を一体的に提供するものです。
- ∴ 筑波大学附属病院と三菱化学メディエンス株式会社との協同・連携のもと、あわせて臨床検査技師会、地域関連団体の協力を得てサービスを提供していきます。
- ∴ 教育・研究支援を担当するNPO法人「つくば臨床検査教育・研究センター (TMER)」と本事業拠点であるラボを運営し、検査センター機能を担当する「つくばi-Laboratory LLP (TiLL)」の2つの組織です。

∴ 地域での共有・協同を前提としたオープンなラボ施設を開設しています。これを拠点に、高度に整備された臨床検査分野の地域医療を支援する共通インフラとして、これまでになく新しい価値を形成し、地域医療の向上を通じて社会に貢献することを目指しています。



つくば臨床検査教育・研究センター事業



TMERでは、平成23年度の事業として、こんなことをやりました。



←23年5月に、市民公開講演会を「イースつくば」で開催しました。
併せて骨密度測定を行い、好評でした。→



23年9月と24年3月の二回、福島県伊達市仮設住宅入居者への健康支援(血液・尿検査)に行きました。

☆この支援事業は、筑波大学人間総合科学研究科、同附属病院等が中核となり、地方自治体や民間企業の協力を得ながら行った健康づくり支援プログラムへの協力事業です。



23年11月に、筑波大学附属病院、国際臨床検査技師連盟(IFBLS)との共催により、台湾から臨床検査技師を招請し、研修事業を1週間行いました。



こんな事業もやりました。

- ・MLA(検査室マネジメント)セミナーを年5回開催しました。
- ・臨床免疫学研修会(i-Labでの1日実習あり)を9月に開催しました。
- ・大学等での出前授業を山陽女子短期大学、東北大学で行い、講師を派遣しました。
- ・協和中央病院、つくばセントラル病院には、出前講演会を行い、講師を派遣しました。



つくばi-Laboratory紹介

つくばi-Laboratoryは登録衛生検査所（臨床検査センター）として、筑波大学附属病院をはじめとし、地域の病院からお預かりした血液を測定し、品質の高い検査結果を迅速にご報告しています。



コレステロール、中性脂肪や血糖値などの生化学検査のほか、ガンを見つける腫瘍マーカーと呼ばれる免疫学検査など160に及ぶ検査項目を測定しています。

特に免疫学的検査は、測定法の異なる多種の検査機器を導入し臨床の先生方のニーズにお応えしています。



i-Labの特徴

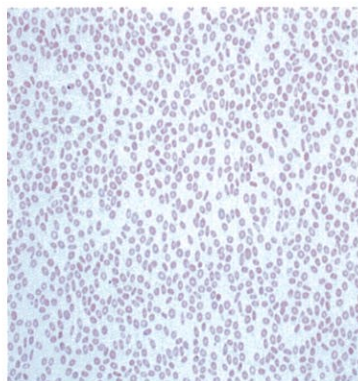
- ・ 臨床検査技師は、筑波大学附属病院と三菱化学メディエンス株式会社からの出向者。
- ・ 設備は、最新の機器を導入しています。
- ・ 研究用として -80°C で長期間保管が可能な検体保管設備を保有しています。
(80万本保有可能)



寄稿 i-Labでの検査は・・・

健康診断や病気の治療方法の選択・予後の推定では欠かせない臨床検査について、一般の皆様はどれだけ理解されているのでしょうか。一般の健康診断や成人病検診では必ず血液検査が行われています。今年1年はシリーズとして血液検査について紹介します。

○ 血液検査でわかること I 鉄欠乏性貧血



貧血とは、血液中の赤血球に含まれる赤い色素であるヘモグロビンが不足した状態をいいます。赤血球は肺から抹消組織への酸素の運び屋で、赤血球中のヘモグロビンが酸素の運搬に携わっています。貧血の場合にはこのヘモグロビンが不足するので、酸素の量が身体の各所で減少し、酸素欠乏になってしまいます。

ヘモグロビンを作るには鉄が必要ですが、体内の鉄分が不足して起こる貧血を鉄欠乏性貧血といい、貧血の中では最も頻度が高く全貧血中の約2/3を占め若年～中年の女性に多い病気です。

平成24年度事業として、いろいろな催しを企画していますので、みなさん参加してください。



特定非営利活動法人
つくば臨床検査教育・研究センター
TSUKUBA MEDICAL LABORATORY OF EDUCATION AND RESEARCH

第3回 市民公開講演会 —子供の健康と環境—

● プログラム

- 13:30～13:40 オープニングリマックス**
NPO法人副理事長/筑波大学副学長・理事・附属病院長
五十嵐徹也 先生
- 13:40～14:40 講演Ⅰ 大震災と大気環境保全**
環境省 水・大気環境局 大気環境課長
山本 光昭 先生
- 14:40～15:40 講演Ⅱ 健康と放射線**
土浦協同病院副院長/地域がんセンター長・放射線科部長
筑波大学附属病院臨床教授
大原 潔 先生

● 会場アクセス

つくば国際会議場
〒305-0032 茨城県つくば市竹園2-20-3

- ✓ 自動車でお越しの方
 - ①常磐自動車道「谷田部IC」より、研究学園方面 7km
 - ②常磐自動車道「桜土浦IC」より、研究学園方面 11km
- ✓ 電車でお越しの方
つくばエクスプレス「つくば駅」より徒歩5分
- ✓ バスでお越しの方
つくばセンターより徒歩5分



● お問い合わせ先

特定非営利活動法人つくば臨床検査教育・研究センター事務局
〒305-0005 茨城県つくば市天久保2-1-17
TEL 029(850)1050 E-mail tmer.jimukyoku@estate.ocn.ne.jp

主催 特定非営利活動法人つくば臨床検査教育・研究センター
共催 茨城県臨床検査技師会(日臨技生涯教育点数:基礎20点)・つくば i-Laboratory LLP
後援 茨城県・つくば市・茨城県医師会・茨城県看護協会・公益財団法人 茨城県総合健診協会
筑波大学附属病院

日時 平成24年5月12日(土) 13:30～15:40
開場 13:10
会場 つくば国際会議場 中ホール
参加費 無料 ※ご自由に参加ください

各種事業案内

- 第3回市民公開講演会
- 血液学研修会(年6回)
- 検査室マネジメントセミナー
(年5回)
- 国内招請研修事業(1週間)
- 外国人招請研修事業
(1週間)
- 大学等への出前講義
- 医療機関等への出前講演
- 研究奨励助成金・研究支援
助成金
- 共同研究の推進



TMERホームページに詳細を
掲載しています。

<http://www.tmer.or.jp/>

編集後記

今年の桜は遅咲きでしたね。この創刊号ニュースレターを作り終えた頃が満開となりました。手作りの紙面なのでデザインがいまいちですが、一度は読んでいただきたいと思います。 HS

アクセス



〒305-0005

茨城県つくば市天久保2-1-17

つくば臨床検査教育研究センター

NPO法人 つくば臨床検査教育・研究センター 事務局



電話：029-850-1050

FAX：029-856-5226

eメール：tmer.jimukyoku@estate.ocn.ne.jp

ホームページ：<http://www.tmer.or.jp/>

つくばi-Laboratory有限責任事業組合 事業企画部



電話：029-850-1320

FAX：029-856-5226

eメール：mail@tsukuba-i-lab.com

ホームページ：<http://www.tsukuba-i-lab.com/>